

南市岡3丁目にかかる校区変更について

1. 現状

市岡小学校は、平成25年5月1日現在、児童数509人(南市岡3丁目の児童数239人)、学級数16学級、保有普通教室20教室、運動場面積は3,400㎡である。市岡小学校は今後も児童数が増加する見込みであり、平成31年度には、児童数730人(南市岡3丁目の児童数342人)、学級数22学級となる見込みである。児童数が721人以上の場合の小学校の運動場の設置基準は7,200㎡(1人当たり約10㎡)であり、市岡小学校はその半分以下(1人当たり4.6㎡)となるため、教育上大きな支障が生じることから、早急に対策を講じる必要がある。

南市岡小学校は、平成25年5月1日現在、児童数118人、6学級であり、平成31年度の児童数は123人、6学級になる見込みである。

2. 教育環境改善に向けた考え方

市岡小学校は、今後、児童数が急速に増えることから、教育環境上大きな支障が生じる。また、南市岡小学校は、全学年単学級であり、6年間クラス替えができないなどの教育環境上の課題がある。今後の児童数の推移を踏まえても、隣接している市岡小学校と南市岡小学校の児童数は、著しくバランスを欠く状況にある。

両校の教育環境上の課題を解消するため、「南市岡3丁目」を南市岡小学校区へ校区変更を行い、両校を適正な規模(12~24学級)とする。

(1) 市岡小学校

・「南市岡3丁目」を南市岡小学校区へ校区変更を行うことで、市岡小学校の運動場の狭隘が改善されるとともに、今後の教室の増築が不要となり、教育環境の向上が図られる。

(2) 南市岡小学校

・「南市岡3丁目」を南市岡小学校区へ校区変更を行うことで、単学級が解消され、教育環境の向上が図られる。

(3) 通学の安全

・「南市岡3丁目」の児童は、現在、幹線道路(国道43号)を渡って通学している。「南市岡3丁目」を南市岡小学校区に校区変更した場合は、幹線道路を渡らないで通学できるようになり、児童の通学の安全性が向上する。

以上により、「南市岡3丁目」を、南市岡小学校区へ変更することにより、市岡小学校及び南市岡小学校の教育環境の改善を図る。ただし、平成27年度から3年間、「南市岡3丁目」を調整区域とし、平成30年度に南市岡小学校区へ校区変更をする。

居住地(南市岡3丁目)の校区の学校(市岡小学校)以外の他の学校を「調整校」(南市岡小学校)と定め、保護者の申請により、調整校(南市岡小学校)に行くこともできる地域(南市岡3丁目)を特例的に設けること。

3. 小学校と中学校の接続

現在、市岡小学校と接続する中学校は、港南中学校(市岡1~4丁目の児童)と市岡中学校(南市岡3丁目の児童)となっている。

・「南市岡3丁目」の小学校区を南市岡小学校に変更することとあわせて、中学校区を市岡東中学校区とすることによって、同じ小学校から2つの中学校に分かれて進学する状態を解消し、小学校・中学校の円滑な連携を図ることとする。

【現在の校区】

| 住 所 |
|-------------|
| 市岡 1 ~ 4 丁目 |
| 南市岡 3 丁目 |
| 南市岡 1・2 丁目 |

| 小学校 | 中学校 |
|-----|-----|
| 市 岡 | 港 南 |
| | 市 岡 |
| 南市岡 | 市岡東 |



【校区の変更(案)】

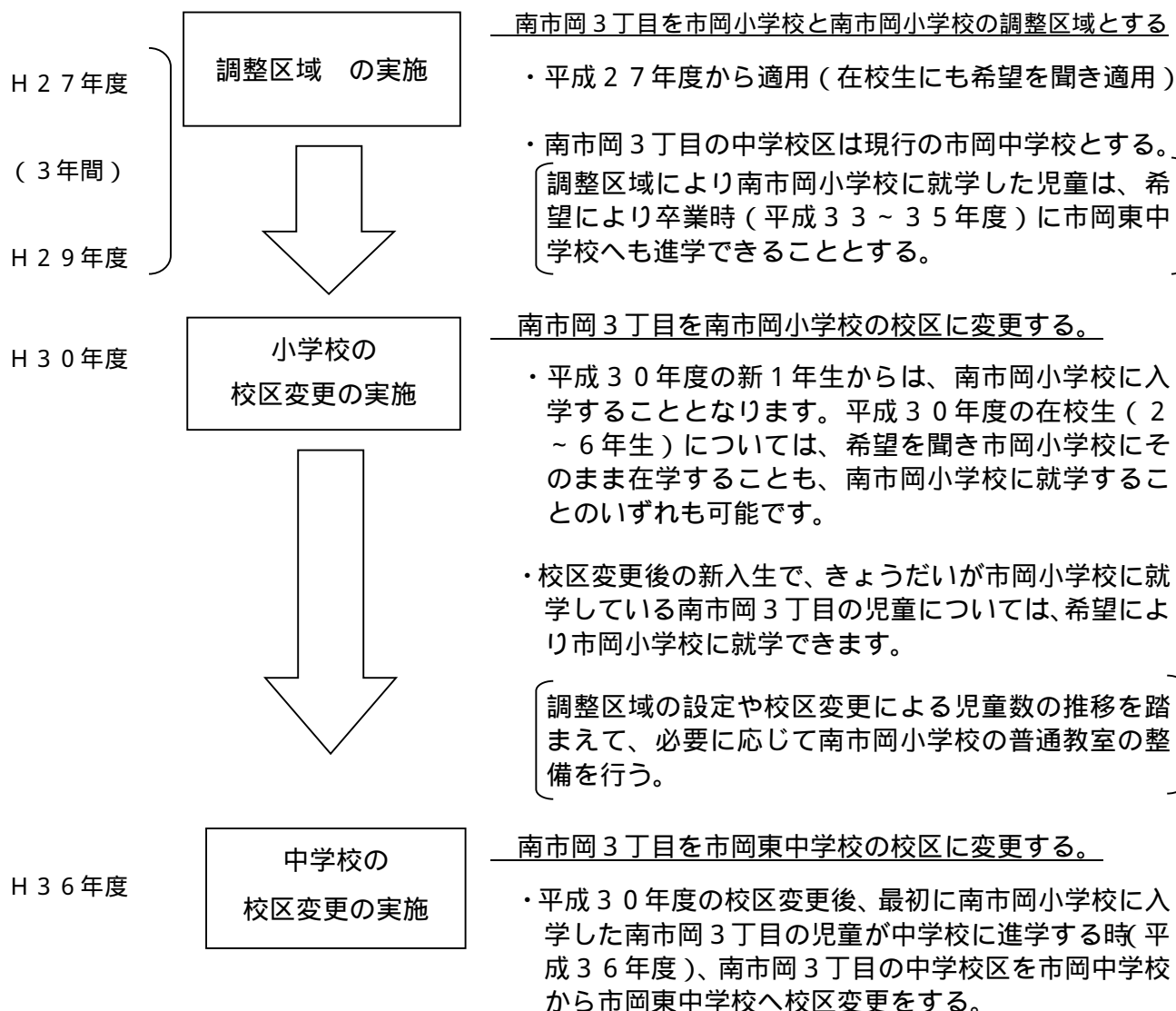
| 小学校 | 中学校 |
|-------|-------|
| 市 岡 | 港 南 |
| 南市岡 1 | 市岡東 2 |

- 1 平成 3 0 年度実施
- 2 平成 3 6 年度実施

「南市岡 3 丁目」を市岡東中学校区に変更する。実施時期は、小学校の校区変更(平成 3 0 年度)後に、最初に南市岡小学校に入学した南市岡 3 丁目の児童が中学校に進学する平成 3 6 年度とする。

校区変更の具体的な進め方

ただし、学校選択制の適用を除く



調整区域

調整区域の設定は、校区変更が予定されている場合に認められます。平成 2 9 年度までの 3 年間は調整区域ですが、南市岡 3 丁目の校区は市岡小学校です。今回、調整区域とすることにより、その 3 年間は保護者の申請により、南市岡小学校に就学することができるようになります。